

氷見市議会産業建設委員会会議録

令和7年3月12日（水）

氷見市庁舎議事堂委員会室

開 会 午前 9時59分

閉 会 午前11時19分

- 1 案 件 令和7年3月定例会において産業建設委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 5名
北委員長、萬谷副委員長、萩山委員、屋敷委員、荻野委員
- 3 委員外議員 正保護長、上坊寺副議長、穴倉議員、竹岸議員、澤田議員、谷口議員
- 4 職務のため出席した議会局職員 布尾局長、山崎次長補佐
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
菊地市長、篠田副市長、大木政策統括監、出戸企画政策部長、東軒総務部長、舛田防災・危機管理監、安田消防管理監、釜田産業振興部長、神代建設部長、中川地域防災課長、竹消防総務課長、角商工観光課長、赤倉農林畜産課長、谷口農業委員会事務局長、竹口水産振興課長、林ふるさと整備課長、堂田道路課長、宮下都市計画課長、足立上下水道課長、そのほか関係職員
- 6 傍 聴 人 2人
- 7 付託議案 別紙付託案件表のとおり
- 8 経過及び結果
 - ・北委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、いずれの案件も全会一致をもって原案を可決または承認することに決した（主な質疑応答は別紙のとおり）。
 - ・委員長報告は委員長に一任され、特筆事項は無しとした。
 - ・令和7年度の行政視察については、5月21日から23日までの3日間で実施することとし調査事項及び行程は委員長に一任された。なお、議長に委員派遣の承認を求めることとした。
 - ・令和7年度の市道認定（現地調査）の委員会を5月27日に開催することとした。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和7年3月12日

氷見市議会産業建設委員長



令和7年3月産業建設委員会付託案件表

9:59~
令和7年3月12日(水)午前10時
氷見市庁舎議事堂委員会室

◎消防総務課 10:00~

- ・議案第1号 令和7年度氷見市一般会計予算中
消防総務課所管に係る事項…………… 予算書P.77
- ・議案第9号 令和6年度氷見市一般会計補正予算(第10号)中
消防総務課所管に係る事項…………… 説明書P.20

◎地域防災課 10:08~

- ・議案第1号 令和7年度氷見市一般会計予算中
地域防災課所管に係る事項…………… 予算書P.50
- ・議案第9号 令和6年度氷見市一般会計補正予算(第10号)中
地域防災課所管に係る事項…………… 説明書P.10

◎商工観光課 10:12~

- ・議案第1号 令和7年度氷見市一般会計予算中
商工観光課所管に係る事項…………… 予算書P.50
- ・議案第9号 令和6年度氷見市一般会計補正予算(第10号)中
商工観光課所管に係る事項…………… 説明書P.17
- ・議案第25号 氷見市新型コロナウイルス感染症対策利子補給等基金
条例の廃止について…………… 議案書P.38
- ・報告第1号 地方自治法第179条による専決処分について…………… 議案書P.43

◎農林畜産課 10:25~

- ・議案第1号 令和7年度氷見市一般会計予算中
農林畜産課所管に係る事項…………… 予算書P.65
- ・議案第9号 令和6年度氷見市一般会計補正予算(第10号)中
農林畜産課所管に係る事項…………… 説明書P.16

◎水産振興課 10:36~

- ・議案第1号 令和7年度氷見市一般会計予算中
水産振興課所管に係る事項…………… 予算書P.68
- ・議案第9号 令和6年度氷見市一般会計補正予算(第10号)中
水産振興課所管に係る事項…………… 説明書P.17

◎農業委員会事務局 10:40~

- ・議案第1号 令和7年度氷見市一般会計予算中
農業委員会事務局所管に係る事項…………… 予算書P.65
- ・議案第9号 令和6年度氷見市一般会計補正予算(第10号)中
農業委員会事務局所管に係る事項…………… 説明書P.16

【裏面へ続く】

◎ふるさと整備課 10:45~

- ・議案第 1 号 令和 7 年度氷見市一般会計予算中
ふるさと整備課所管に係る事項…………… 予算書 P. 67
- ・議案第 9 号 令和 6 年度氷見市一般会計補正予算(第 10 号)中
ふるさと整備課所管に係る事項…………… 説明書 P. 16

◎道 路 課 10:50~

- ・議案第 1 号 令和 7 年度氷見市一般会計予算中
道路課所管に係る事項…………… 予算書 P. 50
- ・議案第 9 号 令和 6 年度氷見市一般会計補正予算(第 10 号)中
道路課所管に係る事項…………… 説明書 P. 11
- ・報告第 1 号 地方自治法第 179 条による専決処分について…………… 議案書 P. 43

◎都市計画課 10:57~

- ・議案第 1 号 令和 7 年度氷見市一般会計予算中
都市計画課所管に係る事項…………… 予算書 P. 58
- ・議案第 9 号 令和 6 年度氷見市一般会計補正予算(第 10 号)中
都市計画課所管に係る事項…………… 説明書 P. 20

◎上下水道課 11:05~

- ・議案第 1 号 令和 7 年度氷見市一般会計予算中
上下水道課所管に係る事項…………… 予算書 P. 61
- ・議案第 2 号 令和 7 年度氷見市水道事業会計予算…………… 予算書 P. 特 1
- ・議案第 4 号 令和 7 年度氷見市下水道事業会計予算…………… 予算書 P. 特 43
- ・議案第 9 号 令和 6 年度氷見市一般会計補正予算(第 10 号)中
上下水道課所管に係る事項…………… 説明書 P. 15
- ・議案第 10 号 令和 6 年度氷見市水道事業会計補正予算(第 5 号)…………… 説明書 P. 33
- ・議案第 12 号 令和 6 年度氷見市下水道事業会計補正予算(第 5 号)…………… 説明書 P. 39
- ・議案第 23 号 氷見市水道の布設工事の監督及び水道技術管理者の
資格に関する条例の一部改正について…………… 議案書 P. 36

(注)財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

主な質疑応答

消防防災課 屋敷委員 竹消防防災課長 屋敷委員 竹消防防災課長 屋敷委員 竹消防防災課長	【令和6年度氷見市補正予算書 20 ページ 消防分団運営費について】 1月にロサンゼルスで、3月に日本でも山野火事により大きな被害をだしている。氷見市の消防分団の数字をお聞かせいただきたい。氷見市では20分団770名が定員であると聞いているが、現在の消防分団員は何人か。 3月1日現在で684名 定員からみると684名は少ない。この消防団の地域格差はあるか。 団員数が少ない地区は、八代地区並びに女良地区であり、いずれも定数より15名の減となってとなっている。 消防分団のみなさんの活躍は、私たち市民にとって、命や財産を見守ってくださる大切な存在だと思っている。今後も分団員の確保に対して、どのように考えているか。 現在、消防団ではSNSを活用し行事ごとにイベント等の発信を行っている。今後、消防署では、ファイヤーパークとして、小学生を対象に消防の仕組み等を説明していく。その中で、消防団の方にも参加していただき、消防団に対する理解深めることを小さい頃からは行うことで、将来的な増員に繋げていきたい。
商工観光課 萩山委員 角商工観光課長 萩山委員	【令和7年度氷見市予算書 71 ページ 観光振興事業費のうち個人旅行向け貸切バス運行実証事業について】 2月の委員会時から、その後の進展についてお聞かせいただきたい。 以前、担当しておられた前辻元副市長に電話し連絡をとったところ、当時は、金沢から金沢医科大学病院を循環して、氷見市民病院に来るというような、生活路線バスも兼ねる運行を目的としていたということであった。今回は観光客誘客を目的にしており北鉄バスを訪問し知恵をご教示いただいている。今後、何ができるのかということを模索中であり、北鉄バスも実施できるかどうかというのはなかなか難しいが、利用しやすいものとなるよう検討していく。 市職員の大先輩として、いろいろと注意をいただいたと思うが、今定例会の最中にお亡くなりになった。まだまだ、いろいろとお導きをいただきたい限りであるが、既に角課長が連絡を取って、過去の経緯等をご教示いただいているということで安堵している。諸先輩方のことをしっかりと伝授していくことは、必ずその将来の道に繋がってくると思われるので、今回に限らず様々な施

角商工観光課長 萩山委員 菊地市長	策の中で、掘り起こしをしながら進めていっていただきたいが、いかがか。 先の委員会後、すぐ電話をさせていただいて良かった。叱咤激励を元気な声でいただいております、今は寂しい限りである。ご指摘のとおり過去からの積み重ねで今の制度があるので、そういったものを必ず聞いて、今後の事業実施に取り組んでまいりたい。 菊地市長は、前辻副市長の時には県の職員として、いろいろ接点があったかと思う。今回の本会議の中で、どなたからもこのことについて、お触れにならなかったことを残念に思っているが、市長として、故人を悼むというか、どのように感じておられるかお聞かせいただきたい。 突然の訃報に本当に驚いた。角課長の電話後、直接ではないが、私の方にもいろいろアドバイスいただき、政策参与としても氷見市政に対して、いろいろなアドバイス、ご指導をいただいたというふうに思っている。心からお悔やみを申し上げますとともに、生前のご功績に対して心から敬意を表したい。
都市計画課 萬谷委員 宮下都市計画課長 萬谷委員 宮下都市計画課長	【令和7年度氷見市予算書 76 ページ 災害公営住宅整備事業費について】 災害公営住宅の希望が60数件あって、決めかねている方も70数件おられるということだが、災害公営住宅は2棟42室分が建設され、希望者を選抜する場合は抽選になるのか。 東日本大震災の事例を調査したところ、一般的には抽選を大前提に進めている。本市の選定方法は、まだ決まっていないが、今後も他市の状況を調べながら、入居の選定方法について検討してまいりたい。 災害公営住宅の入居が令和8年秋口となれば、応急仮設住宅等で住んでおられる方への2年間の家賃補助期間から外れることになるが、それに対する支援は。 発災直後の令和6年1月から、いわゆるみなし仮設に入居いただいている方々がおられる。家賃補助は2年間のため、令和8年の1月には期限を迎えることになる。 現在、国県ともに本市の実情を説明し、災害公営住宅の入居は令和8年秋としているため半年以上の期間が補助対象でなくなるため、現在、延長についての協議を進めている。東日本大震災においても公営住宅の建設、復旧復興のスピードに応じて特定延長というものが出されていた。今回の能登半島地震においても、この特定延長が認めていただけるよう引き続き協議を進めていく。

上下水道課	
萩山委員	【令和 7 年度氷見市予算書特 46 ページ 建設改良費等について】 下水道の復興工事の発注について、不調だということが聞こえてきている。高岡市の方が氷見市よりも先に着手しており、受注した企業が経費的にとても合わないというような声も聞こえてきている。このような声が今回の不調にあたり、事業者から聞こえてきているか。
足立上下水道課長	今の不調の件については、まだ関係団体と話しをしておらず、今週中に意見交換する予定となっている。その中で生の声が聞こえてくるものと考えている。
萩山委員	高岡の協会会長と話したところでは、液状化に伴う下水道の破損は、管まで掘り下げてみると、その管の周りにも“ぐちゃぐちゃな”泥、汚泥があつて、それを入れ替えなければならない。その汚泥を処理し、凝固剤などで固めるなどの処理をしなければならず、それらにかかる経費もみていただかなければならない、というものであった。行政からそのような話や状況を事前に察知して協会等を示さないことが、“当該工事では採算が取れない”というような噂を先行させ不調につながったとも推測できる。 行政として早急に状況を察知し、協会等と詰めていただかないと、これから発注することにも、同じような影響がでてくるかもしれないので、建設部長も含めお願いしたいが、いかがか。
足立上下水道課長	高岡市の情報もちちから収集し、そのようなことがないように取り組んでまいりたい。